

保護者が登園届を記入する感染症の概要

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
ようれんきんかんせんしやう 溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する 前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間が経過 していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する 前と開始後数日間	発熱や激しい咳 <small>せき</small> が治まっている こと
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍 <small>すいほう かいよう</small> が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影 響がなく、普段の食事がとれること
てんせんせいこうはん 伝染性紅斑（りんご病）	発しん出現前の1週間	全身状+態がよいこと
ウイルス性胃腸炎 （ノロウイルス、ロタウイ ルス、アデノウイルス等）	症状のある間と、症状消失後 1週間（量は減少していくが 数週間ウイルスを排出してい るので注意が必要）	嘔吐 <small>おうと</small> 、下痢等の症状が治まり、普 段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1 か月程度ウイルスを排出して いるので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影 響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が よいこと
ほう 帯状疱疹	ほう 水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮 <small>かひ</small> （かさぶ た）化していること
突発性発しん	—	解熱し機嫌がよく全身状態がよ いこと
アタマジラミ症	—	医師の診断を受け、駆除を開始 しており、頭の確認をし寄生無 を確認できた場合
かいせん 疥癬	—	皮膚科を受診し薬により治療、 落屑 <small>らくせつ</small> が認められなくなった場合
てんせんせいなんぞくしゅ 伝染性軟属腫（水いぼ）	—	衣類・包帯などで覆い、露出を 避ける 滲出液 <small>しんしゅつえき</small> が出ている場合 はガーゼで覆う
てんせんせいのうかしん 伝染性膿痂（とびひ）	—	広い範囲の水ぶくれ等が軽快し ていること ガーゼ等で覆うこ とができない場所は皮疹 <small>ひしん</small> が乾燥 していること
B型肝炎	—	HBワクチンの接種 傷がある 場合は耐水性絆創膏できちんと 覆っておく
ヒトメタニューモウイルス 感染症	—	咳などの全身状態の安定

保育所における感染症対策ガイドライン（令和5年5月）参照・一部準用